

総会

配布：一般

2013年6月19日

原文：英語

人権理事会

第23会期

議事日程議題1

組織的および手続的事項

人権理事会により採択された決議\*

23/1

シリア・アラブ共和国における悪化しつつある人権の状況および  
最近のアル・クセイルにおける殺害

人権理事会は、

国際連合憲章に基づき、

シリア・アラブ共和国における悪化しつつある人権の状況および現在シリア体制派により包囲されているアル・クセイルにおける殺害を議論する緊急の討論を開催しつつ、

2011年12月19日の66/176、2012年2月16日の66/253、2012年8月3日の66/253B、2012年12月20日の67/183および2013年5月15日の67/262の総会諸決議、2011年4月29日のS-16/1、2011年8月22日のS-17/1、2011年12月2日のS-18/1、2012年3月1日の19/1、2012年3月23日の19/22、2012年7月6日の20/22、2012年9月28日の21/26および2013年3月22日の

---

\*人権理事会により採択された決議および決定は、人権理事会第23会期に関する理事会報告書(A/HRC/23/2)第1章に含まれる。

22/24 の人権理事会諸決議、そして 2012 年 4 月 14 日の 2042 (2012) および 2012 年 4 月 21 日の 2043 (2012) の安全保障理事会諸決議を想起し、

国際連合人権高等弁務官が西部シリアの町アル・クセイルの周りに主要な軍が集結しているという報告に警報を表明し、そして同弁務官が更なる残虐行為と地方の一般住民の移送が増えていることを恐れたと述べている、2013 年 5 月 10 日の同弁務官の報道声明を想起し、

シリア・アラブ共和国の主権、独立、統一および領土保全並びに国連憲章の原則に対するその強い公約を再確認し、

1. 国際人道法のあらゆる違反およびシリア当局並びに政府と協力関係にある民兵による、アル・クセイルの人々に対するものを含む、シリア・アラブ共和国の文民に対する弾道ミサイルおよび他の重火器の体制派の使用に関する違反のような、広範なそして組織的な人権および基本的自由の重大な侵害を強く非難する。

2. その由来にかかわらず、シリア・アラブ共和国における全ての暴力を非難し、そして全ての当事者に対し、テロ行為および党派の緊張を助長し得る暴力若しくは脅迫の行為を含む、あらゆる形態の暴力に直ちに終止符を打つことを求め、あらゆる人権侵害をまた非難し、また全ての当事者に対し、国際人道法および国際人権法を含む、国際法の下でのその義務を厳格に遵守することを求める。

3. シリア当局に対し、シリア国民を保護するその責任を果たすことおよびアル・クセイルの文民に対する全ての攻撃に直ちに終止符を打つことを求める。

4. アル・クセイルの大虐殺に責任を有する者の責任を確保する必要性を強調し、そしてシリア・アラブ共和国における国際人道法と国際人権法の重大な違反に責任を有する者が、責任を問われなければならないことをまた強調し、適切な状況の下で、適切な国際刑事裁判および制度への付託の妥当性を強調しつつ、広範囲の、包括的なそして信頼に足る協議を基礎として、シリア国民が、甚だしい侵害のための正義、和解、真理および説明責任を達成するための過程と手続、並びに犠牲者のための賠償と効果的な救済を、国際法により提供された枠組内で、決定すべきことを再確認す

る。

5. アル・クセイルにおけるシリア体制派のために戦っている外国の戦闘員の介入を非難し、そしてその関与が、同地域に重大な悪影響を有する、悪化しつつある人権および人道状況を更に悪化させることに深い懸念を表明する。

6. シリア当局が、緊急の優先事項として国境を越えた人道活動のために承認を与えることによるものを含む、全ての効果的な経路を通した、特にアル・クセイルにおける、暴力により影響を受けたあらゆる文民に対する国際連合および人道機関による自由なそして妨げられないアクセスを許与することを要求し、そして全ての当事者に対し、医療要員、施設および輸送をそれとして保護することを促す。

7. 調査委員会に対し、アル・クセイルにおける事件の包括的な、独立したそして拘束を受けない調査を緊急に実施することを要請し、そして委員会に対し、人権理事会の 24 会期に同理事会へのその報告書に調査の所見を含めることを更に要請する。

8. この問題に引き続き取り組むことおよびシリア・アラブ共和国における人権の状況について更なる行動を取ることを決定する。

第8回会合

2013年5月29日

[36 対 1、棄権 8 の記録投票により採択された。投票結果は以下の通り：

賛成：

アルゼンチン、オーストリア、ベナン、ボツワナ、ブラジル、ブルキナファソ、チリ、コスタリカ、コートジボワール、チェコ共和国、エストニア、ガボン、ドイツ、グアテマラ、アイルランド、イタリア、日本、クウェート、リビア、マレーシア、モルディブ、モーリタニア、モンテネグロ、パキスタン、ペルー、ポーランド、カタール、大韓民国、モルドバ共和国、ルーマニア、シエラレオネ、スペイン、スイス、タイ、アラブ首長国連邦、アメリカ合衆国

反対：

ベネズエラ（ボリバル共和国）

棄権：

アンゴラ、コンゴ、エクアドル、エチオピア、インド、インドネシア、フィリピン、ウガンダ]